

【取組内容②】 第2学年生活科「まちが大すき たんけんたい」 檜原村の小学校とのオンライン交流授業

2年生生活科の単元「まちが大すき たんけんたい」では、自分たちが住んでいる足立区の学校の周りの様子と東京都檜原村の様子を紹介し合う活動を設定した。Googleスライドを活用して紹介スライドを作成するか、画用紙を活用して紹介カードを作成するか児童に選択できる環境を整えた。Googleスライドを共同編集することは初めてだったが、手書きで文章を作成したり、スライドに合う写真を撮って活用したりすることができた。

また、地域の様子を紹介するだけの交流にならないよう、Google Meetを活用してオンラインで相手の表情を見ながらやり取りをすることを大切に、相手を意識しながら発表したり、質問したり、感想を伝えたりする活動ができた。



成果

- ・オンライン交流学习を通して、他の地域と自分たちの町を比較することで、それぞれの地域の良さに気付くことができた。
- ・実際の写真を見せ合うことで、それぞれの地域の特徴が明確になり、理解につながった。
- ・タブレットを活用して共同編集することにより、短時間で作業ができた。
- ・Googleフォームの活用をして振り返りを共有することで、良い考えを広げたり、事後の活動への意欲を高めたりすることにつながった。

課題

- ・事前に機器の設定を確認したり、教師同士での打ち合わせをしたりする準備が必要であった。
- ・スライドの作成のスキルに差があり、個に対応した教師の細やかな指導が必要であった。
- ・手書きで文章を入力をする児童が多かったため、時間がかかった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

興本扇学園 足立区立興本小学校

【取組内容②】 第4学年国際コミュニケーション科「東京の魅力伝え隊」滋賀県の小学校とのオンライン交流授業

4年生国際コミュニケーション科「東京の魅力伝え隊」では、社会科で学習した内容を活用して、東京の特長や魅力についてプレゼンテーションを行った。4年生で学習するそれぞれの都道府県の様子について、滋賀県湖南市の学校と交流することで、お互いの共通点や違いに興味をもって聞き合うことができると考えた。4～5人のグループで共同編集しながらGoogleスライドによる発表資料を作成した。オンラインでGoogleスライドを画面共有しながらプレゼンをするのは初めてであった。また、事前に顔合わせ交流を行い、Formsを使って相手が知りたい内容を把握させることで、それに応えようと準備する様子が見られた。事前リハーサルでは、お互いの発表を聞き、感想やアドバイスを入力するFormsを使ったり、発表の様子を動画で記録して確認したりすることで、より伝わりやすい発表を目指すことができた。交流当日は、発表内容についての質疑応答に加え、お互いの学校や地域の様子の情報交換も行うことができた。



成果

- ・事前に相手と交流をし、質問したいことのアンケートを取ることで、相手のことをより意識した準備ができた。
- ・小グループ同士で、同時に交流させることで、児童一人一人の活動量が確保され、主体的に取り組ませることができた。
- ・リハーサルでの感想・アドバイスをFormsで文字として残し、記録動画と見比べることで、自分のプレゼンの姿を客観的に捉え、改善することができた。
- ・事前・事後ともに相手と質問や感想をやり取りすることで、有用感や達成感を感じさせることができた。

課題

- ・相手校と綿密な事前の打ち合わせや準備が必要である。
- ・自治体ごとのタブレット端末が異なることにより、画面が共有ができないなどトラブルがあった。
- ・児童に使わせたアプリケーションの数と種類が多すぎるため、児童の負担となった。
- ・つながる相手の定着のために手立てが必要である。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

興本扇学園 足立区立興本小学校

【取組内容①】 GoogleフォームやGoogleスプレッドシートを活用した児童の振り返りと学級・学年での共有

児童・生徒の授業の振り返りに、GoogleフォームとGoogleスプレッドシートを活用しています。Googleスプレッドシートで集計した振り返り結果は、教員と児童・生徒で共有します。共有することで、児童・生徒は、他の児童・生徒の意見に触れ、自分の意見が深まります。また、教員は、授業の改善に役立てることが出来ます。

班ごとに発表を行う際には、Googleフォームで「声の大きさ」「資料のわかりやすさ」「内容の充実度」などの項目別に即時評価を行います。評価結果は、班ごとに共有し、フィードバックを行います。フィードバックを行うことで、児童・生徒は、客観的な評価を知ることが出来ます。また、発表の質の向上につながりました。

今日の授業のふりかえりをしましょう。

分かったこと
考えたこと
次に考えたいこと

ふりかえり*

回答を入力

送信

1/12ふりかえり (回答) ☆ 📁 🔄

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

🔍 🏠 🔄 📄 100% | ¥ % .0 .00 123 | デフォ... | - 10 + | B I 🔍 A 🎨 E

2 | fx

	A	B	G	H	I	J
1	タイムスタンプ	スコア	ふりかえり			
16	2024/01/12 14:53:14	10 / 10	事故が起きたらすぐに110番に電話ではなく総合司令室に電話が入ると知った			
17	2024/01/12 15:00:16	10 / 10	110番が無料で電話できるのは知ってたけど、赤いボタンがついてるのはしらなかった。			
18	2024/01/12 14:55:40	10 / 10	まだ110を電はするかもしれないからわすれないようにしようとおもった。			
19	2024/01/12 14:53:47	10 / 10	何か合った時にどうすればかけれるかがわかりました			
20	2024/01/12 14:54:57	10 / 10	もし、事故が起こった時、周りの建物を覚えとくといいと思いました。			
21	2024/01/12 14:56:17	10 / 10	ぼくが今日始めて知ったのは、通信指令室からつながる連絡の行き先です。ぼくは、警察や消防			
22	2024/01/12 14:58:18	10 / 10	交通事故が起きたら、総合司令室から色々な所に場所をつたえることがわかりました。			

成果

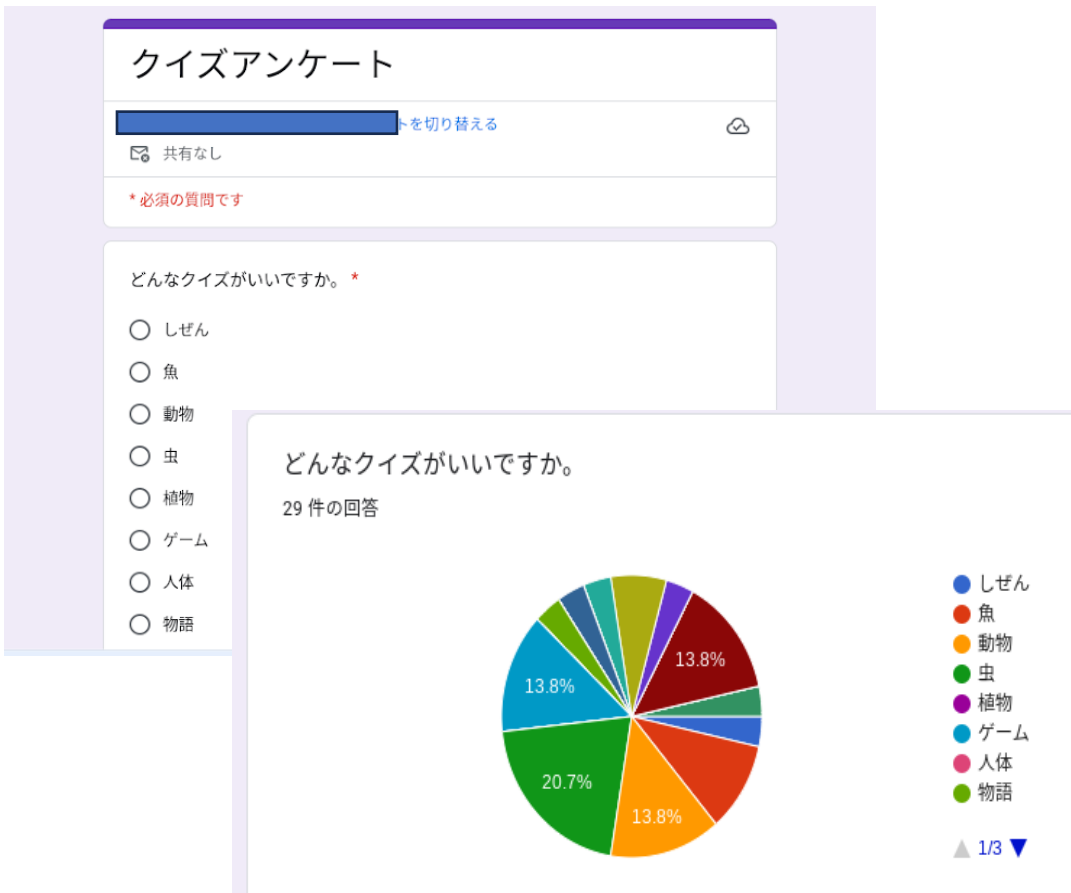
- ・スプレッドシートを使って振り返りを共有することで、一度に全員の意見を見ることができ、様々な視点に触れることができた。
- ・提出・未提出の管理がしやすくなった。
- ・即時評価、即時交流のため、児童の日々の学びがより深くなった。

課題

- ・ローマ字入力が身に付くまでは、入力に時間がかかる。また、手書きより、入力する内容が少なくなってしまう場合がある。

【取組内容①】 Googleフォームを活用した係活動

児童が係活動を行う際にも、Googleフォームを活用しています。たとえば、遊び係が「やりたい遊びを募集する」「ぬり絵係がリクエストを受け付ける」、児童同士の交流を促すために活用されています。



成果

- ・児童同士の交流が深まった。
- ・児童が紙に書いたものを印刷する手間が省けるようになった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

興本扇学園 足立区立興本小学校

【取組内容③】 Google Classroomを用いた連絡配信及びAIドリルを活用した放課後補充教室

本校では、児童・生徒への時間割等の連絡に「Google Classroom」を活用している。翌日の時間割、宿題、持ち物、連絡等を、児童・生徒が個々の端末からいつでも確認することができる環境にした。また、予定黒板に書いてあることを連絡帳に書くことがなくなったことで、時間の有効活用につながった。

つぎに、放課後補充教室や日常の課題、長期休業中の課題としてAIドリルを活用している。放課後補充教室では、教師が事前に作成したワークブックに取り組み、課題を終えた児童から苦手としている教科、力を伸ばしたい教科などを自ら選択し、個別最適な学びの学習を進めることができた。

📅 1月9日 (火)

しらとり先生・1月9日

2024年になりました。
今年もよろしくお祈りします！

小学校生活も残すところ3ヶ月です。
時間は限られています。1日を大切に過ごしましょう。

8:10 冬休み明け朝礼 教室出発
①冬休み明け朝礼&課題回収
②課題回収&手紙配布
③百人一首
④音楽 ※卒業式の曲、暗唱確認
給食なし

明日の時間割は午後更新します。

🗨️ クラスのコメント



成果

- ・児童がいつでも連絡を確認することができ、忘れ物を減らしたり、見通しをもって生活したりすることにつながった。
- ・連絡帳ではできなかった急な予定の変更や追記を、簡単に行うことができた。
- ・苦手な単元の復習を自宅ですすめることができ、翌日の授業に自信をもって臨むことができた。
- ・学習の習熟度がデータで分かり、児童一人一人への個別指導を効果的に行うことができた。

課題

- ・タブレットを学校に忘れる、充電をし忘れるなどの理由で連絡が確認できないことがあった。
- ・AIドリルでは、回答を正しく読み取れなかったり、正確性が欠けている文字でも正解になったりすることがあった。